

## 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会議事録

- 1 開催日時 平成24年1月16日(月)午後7:00から午後7:45まで
- 2 開催場所 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館  
青少年活動サポートプラザ 2階 会議室
- 3 次第
  - (1) 開会
    - ① 委員委嘱
  - (2) 議題
    - ① 子育て青少年拠点夢つながり未来館の利用状況について
    - ② 事業報告について
    - ③ その他
      - ア) 次回の開催日程について
  - (3) 閉会
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者数 1名
- 6 出席委員(13名)  
中村委員・深田委員・菊池委員・串崎委員・奥野委員・松下委員  
中家委員・地石委員・石田委員・梅田委員・杉本委員・田辺委員・西尾委員
- 7 事務局出席者(6名)  
木野内 幸広 (子育て青少年拠点夢つながり未来館副館長)  
信田 二三夫 (地域教育部総括参事青少年活動サポートプラザ担当)  
蒲田 美佐 (青少年活動サポートプラザ主査)  
西川 克弥 (青少年活動サポートプラザ主査)  
伊藤 尊之 (青少年活動サポートプラザ主査)  
山本 紘也 (のびのび子育てプラザ主査)

## 8 議事録

### (1) 開会

(会長)

皆さんこんばんは。本日は、お忙しい中、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会にご出席頂きましてありがとうございます。

それでは、早速ですが、議事の方に進んでまいりたいと思いますが、今回新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、事務局より委嘱状の交付がありますので、よろしくお願ひいたします。

(事務局A)

委嘱状の交付

(会長)

ありがとうございました。それでは新たに委員になられた方、もしよろしければ簡単に自己紹介をお願い致します。

(各委員)

自己紹介

(会長)

ありがとうございました。早速ではございますが、議題の方に入ってまいりたいと思います。

### (2) 議題

(議題①子育て青少年拠点夢つながり未来館の利用状況について)

(会長)

それでは、議題①子育て青少年拠点夢つながり未来館の利用状況についてですが、こちらは事務局の方から報告をお願いします。

(事務局A)

それでは、私の方から、利用状況についてご報告申し上げます。1ページをご覧ください。

この資料は、青少年活動サポートプラザが4月から11月まで、のびのび子育てプラザ、山田駅前図書館については、4月から12月までの利用状況でございます。

まず、1番の2階から6階にかけての、青少年活動サポートプラザですが、多目的ホールなどの貸室は、6,059件で、81,145人、1ヶ月平均にしますと、757件、10,143人の方

にご利用いただいております。

次に、学習室などの貸室以外の利用につきましては、20,524 人の方で1ヶ月平均にしますと2,566 人の方にご利用いただいております。

次に引きこもり、ニートなどの青少年活動相談ですが、純粹にひきこもりやニート不登校など、本業務の相談件数としては、233 件ですが、他に機関への紹介など、さまざまな相談を含めると、1,021 件、1,485 人に上ります。1ヶ月平均にしますと128 件で186 人となります。

ちなみに、相談の内容ですが、全体の中で、引きこもりが21.9%、不登校が14.8%、就労や進路についてが、13.8%と高くなっていますし、相談対象者の年齢層では、15 歳以上、20 歳未満が36.5%、20 歳以上30 歳未満が26.0%です。なお、相談者は、家族が60%を占めています。

1の青少年活動サポートプラザとしましては、貸室以外の利用件数は含めませんが、トータルとして、7,115 件の103,718 人となっています。

次に2ののびのび子育てプラザですが、遊びの広場などの事業参加を含む個人使用者が子ども、大人をあわせまして、31,186 人、サークル交流室などの専用使用が子ども大人を合わせまして2,289 人、育児疲れやリフレッシュのための一時保育の利用者が1,024 人で、総利用者数は子ども大人を合わせまして34,499 人となっています。

1ヶ月平均にしますと3,833 人の方にご利用いただいております。

ちなみに、のびのび子育てプラザでは、「あかちゃんひろば」、「あそびのひろば」、「おとうさんとあそぼう」といった事業を展開しています。この数字は、個人使用者数のなかに含まれていますが、この3つの事業には約1万人の方が参加しています。

その参加者を地域別にみますと、やはり、ニュータウン地域、山田・千里丘地域が80%近くを占めています。

次に、地下1階2階の山田駅前図書館ですが、図書貸出の利用者数は127,496 人の方に、420,996 冊の貸出があり、レファレンス、いわゆる様々な相談ですが、4,848 人、それ以外にインターネットやDVD,CD、講座などの参加者を含めると、総利用者としては143,155 人となり、1ヶ月平均としては15,906 人となっています。

一番上に、夢つながり未来館の総利用者数をお示ししておりますが、281,372 人の皆様にご利用いただいていることとなります。

この数字は、あくまで何らかの形で申請してもらったり、記入をいただいた方の集計ですので、3階などの青少年や図書館のフリーな市民の皆様をいれますと、かなりの数字に上ると考えられます。

併せて、4階以上の貸室利用の登録状況についても報告させていただきたいと思います。

2ページから4ページにかけて資料を添付しておりますが、まず、2ページをご覧ください。これは、登録をジャンル別に表した表です。

スタジオがある関係で、4番の音楽活動が郡を抜いています。

3 ページ、4 ページには、貸室の登録状況をお示ししております。

4 ページの中段をご覧いただきたいと思いますが、吹田市の登録合計は、昨年 12 月末現在で、501 件となっています。

上段の表は、ブロック別に分けておりますが、山田・千里丘地域で全体の約 45%、千里ニュータウン地域で約 27%と、やはり近隣地域の利用が多くなっています。

一番下の表をご覧いただきたいと思いますが、23 年 12 月末現在で、登録総数は 586 件となっています。個人登録もありますが、それぞれの団体での構成員もいますので、登録合計としては、約 6,800 人となります。

以上簡単ですが、利用状況、登録状況についてご報告させていただきました。

(会長)

ありがとうございます。ただ今、利用状況について報告を頂きましたが、皆様の方からご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

(B 委員)

よろしいでしょうか。3 点お伺いしたいことがあります。まず 1 点目ですが、1 ページの青少年活動サポートプラザの方で、貸室の利用ですが、すごくたくさん利用だと思います。ただ、これは借りられない方はいらっしゃらないのですか。間に合わないとかそういうのはないのですか。例えば、借り方なのですけれども決まった日にではなくて、活動したい日にされていると思うのですが、借りられないということはないのですか。

(事務局 A)

今、おっしゃって頂いたことですが、まず、登録をしないと貸室の利用はできません。ただ、登録をかなり事前にしてからでないと申し込みできないということではなく、当日この日使いたいけれどもということ、空いていればその日に登録をして頂いて、利用して頂くことはできます。登録を済ましておけば、毎月第一土曜日の抽選会に参加をすることができ、施設の申し込みをすることができます。

(B 委員)

それと、この貸出団体の中に、青少年 A とか B とかありますよね。この A と B というのはどういうものなのでしょうか。

(事務局 A)

青少年 A というのは、18 歳未満の青少年です。この施設では、30 歳まで青少年ということにさせて頂いております。B というのは、18 歳を超えて 30 歳までの方が対象になります。簡単に申しますと青少年 A は未成年になりますので、無料で貸室を使って頂け

ます。ただ、B というのは、一定の使用料を払って頂いてのご利用になります。そういう分け方をしております。

(A委員)

青少年育成というのは、そういう方たちを指導されているグループということですよ。

(事務局A)

そうです。

(A委員)

わかりました。ありがとうございます。

(会長)

他にはございませんでしょうか。

(B委員)

よろしいでしょうか。のびのび子育てプラザのことでお伺いしたいのですが、私は本日運営協議会に出席しますので、何か聞きたいことはありますかと、1階ののびのび子育てプラザを利用されるお母さんに聞きましたら、この一時保育の人数というのが、1日6人ぐらいですよ。

(C委員)

定員が6人以内になっておりますが、午前と午後に分かれておりますので、半日利用ばかりの人だと12人まで受け入れが可能です。ですが、実際には1日利用の方、半日利用の方がまざっております。

(B委員)

1ヶ月前からでも予約が難しいぐらいいっぱいであるということも聞いてますので、1ヶ月以上前に連絡してもだめなのと、キャンセルが出れば一時保育できますよと言われていますが、予約を入れようとしてもキャンセルが出ているかどうかわかりませんよね。そういうことでなかなか一時保育をしてもらいたくてもしてもらえないような状況にあるので、この人数というのをもう少し増やしてもらって、一時保育に対応してほしいというたくさんのお母さんの声を聞いておりますので、お伝えしておきます。

(会長)

何か補足事項はありますか。

(C委員)

そうですね。かなり要望があります。公立の保育園でもリフレッシュ目的で一時預かりを実施している園が3園ありますので、どちらもいっぱいというのは実態としてあるとは思いますが、増やしていける検討ができればいいと思っております。人員のことも関係してまいります。

(事務局A)

保育士の配置人数と年齢で受け入れる人数が決まっております。そういうことで6人ということにさせて頂いております。

(C委員)

保育士2人で見ていますので、0歳児の対比が3対1ですので、それに準じて、0歳から就学前までのお子さんをお預かりしておりますので、0歳児の配置基準である3対1で、2人しか配置できていないというのも実態ですので、ご要望は十分に理解しております。ありがとうございます。

(会長)

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、また後ほどでも結構ですのでまた何かありましたらお願いいたします。そうしましたら、次の議題に進んでいきたいと思っております。

(議題②事業報告について)

(会長)

それでは、議題②事業報告について、進めてまいりたいと思っております。事務局の方から報告をお願い致します。

(事務局B)

事務局Bと申します。

資料でございますが、本日お配りさせて頂いております主催事業「お正月だよ全員集合」開催結果報告、ページといたしまして5ページから7ページの3枚つづりをご覧ください。

今回、直近に実施いたしました夢つながり未来館全体の主催事業「お正月だよ全員集合」の開催結果をご報告させていただきます。

開催日時ですが、平成24年1月6日(金)の午前11時から午後4時までで、昔ながらの正月遊びやお餅つきなど、身近な正月行事を通じて、青少年に文化に触れる機会を創出し、また、幼児から青少年までという幅広い年齢層の世代間交流を図ることにより青少

年の健全育成並びに子育てに関する学びの機会の促進を図ることを目的に実施いたしました。

6F 多目的ホールでは、手作りの獅子舞の実演をはじめ、ジャンボカルタや人間スゴロク、ふく笑い、こま回しなどの昔ながらのお正月遊びを展開し、134人のご参加を頂きました。また、1F エントランスホールにおきましては、おもちつきを実施し、事前の申し込みのございました33名の方におもちつきを楽しんで頂きました。

最近では、なかなか体験することができなくなっておりますので、参加頂きました子どもたちは目を輝かせて、いろいろな遊びに参加されておりました。当初は、年始の事業ということもありまして、参加者が集まるかどうかの不安もございましたけれども、終わってみると大盛況でございました。7ページには、一部ではございますが、当日の活動の風景を資料として添付させて頂いております。今回の事業につきましては、プロの方をお願いするのではなく、すべて職員の手で行ってまいりました。また、本日こちらに出席頂いておりますD委員、E委員が所属されています青少年委員会から3名、そして、図書館の方からボランティアの方1名にも事業に携わって頂きました。今回の経験を踏まえ、今後は様々な事業に活かしてまいりたいと思います。以上、簡単ではございますが、事業報告とさせていただきます。

(会長)

ありがとうございました。この件につきまして、皆様の方からご質問等がありましたらお願いいたします。

(事務局A)

補足しますと、今「職員が」と申し上げましたが、のびのび子育てプラザの職員が笛を吹けたり、太鼓を叩いたりといろいろできますので、たいしたものだと感心しております。図書館の関係でも絵本のカルタとりなど、結構小さい子どももみんな知っているのですね。カルタには絵だけ書いてあります。それを見つけて、こちらから題名を言ったりすると、それを子どもが見つかるのです。ということは、お母さんが普段から小さい子に紙芝居をしたり、絵本を読んで聞かせてあげているということがわかりました。

あと、こま回しができない子どもたちがたくさんいました。こまに紐をまけない子どもがいました。ひもをまければ回すことができるのですが、まけないのです。できないことを教える、そういうところにつきましては、今後事業をするうえでの参考になるのではないかと思います。

(会長)

ありがとうございました。ちなみに新年は、6日が最初の開館日ですか。

(事務局A)

いえ、4日から開館しております。年末年始の6日間だけが休館日になります。それ以外につきましては、毎日開館です。4日からも冬休みということもありまして、3階のフロアは小中学生や高校生でわいわいがやがやと賑わっておりました。

(会長)

ありがとうございました。他には何かありますでしょうか。

(A委員)

図書館のフロアからのご意見ですが、すいません。今回の「お正月だよ全員集合」はすごくよかったと思います。こういった事業は、平成23年度3月でおしまいになるのですよね。

(事務局A)

23年度の事業としてはそうなります。

(A委員)

そうですね。ですから、今からどうのというと大変だと思いますが、平成24年度以降にやはり考えて頂きたいのは、図書館と子育てと青少年の3つの機関が協力しあってできる催し物があればいいという意見があるのですね。

それと、今回お餅つきもありましたけれども、ちょっと食べ物があったりするとなごんだりしたりすることもあるのですね。例えば、お団子を作って、子ども達が食べて、お団子にまつわるお話を図書館で読むとか、それぞれができたばかりですので、それぞれの立場の方たちが、軌道にのせるのは大変だと思うのですが、年に1回でもいいので、縦を横つながりにして、それで何か催しをされたらいいのではないのでしょうか、それが今回の「お正月だよ全員集合」になるのでしょうか、そういうことをすると、今まで図書館を利用されていなかった方も図書館を利用されるかもしれませんし、図書館に来られた方が、ひよっとしたらのびのび子育てプラザであったり、あるいは楽器を使いここに来ようと思われたり、いろいろな知らなかったことを知る機会にそれが本当のつながりになるのではないかということで、そういう意見がたくさんございました。

ですから、今年度にというのは無理かもしれませんが、例えば、2月にお寿司を作る機会があるとお聞きしましたが、そういうのがあるというのをちょっとでも教えて頂ければ、お寿司にちなんだものや、作り方などの本も図書館にはたくさんありますので、関わりが持てるのではないかということと、あるいは図書館でもおひぎで絵本とかブックスタートという事業をしておりますけれども、それとのびのび子育てプラザでしている本にまつわることもちょっと趣旨が違うのですが、お互いが少しでも歩み寄って頂ければ、もっと深



くて、いい関係ができるのではないかということで、これを今日の会議でぜひ言ってきて頂きたいということを委員の皆様から言われましたので、今年度どうのということではないのですが、来年度に向けてやはりどうつながっていくのかということをそれぞれ模索だと思うのですが、軌道に乗せつつ、協力しつつというのも考えてもらえたらいいなと思います。

(事務局A)

おっしゃるとおりだと思います。それに向けての例えば、3つの機能の連絡会議であるとか、今回につきましてもそうです。別にしないというわけではなくて、そういう機会があればどんどん進めていくわけです。ちなみに後ほど申し上げようと思っていたのですが、3月25日には、1周年記念事業も3つの機能が連携しながらやっていくことになりまして、そういったものについては、随時、話をさせてもらっています。ですから、そういった意見もこの運営協議会、概ね2ヶ月に1回程度になりますけれども、そういう事業の企画・立案については、フロア委員会でいつもして頂くわけですから、それをフロア委員会の方から、例えば、所属長に言ってもらって、連絡会議の中で進めていくというふうに進めていければと思っております。ちなみに平成23年度の事業ということで、一定予算的なこともありますので、締めはするのですが、事業自体は来年度の事業の企画もどんどん進めていきますので、そういうことはどんどん言って頂いたらと思います。

(A委員)

もう1点あるのですが、広報をもう少し工夫されたらどうかというのもありました。せっかくここにたくさんのマンションがあるのに、例えば、マンションの自治会長様とか、そういう方にご理解を頂いて、ポスターやちらしを貼らせて頂くとか、あるいはここは無料の行事が多いですから、それでしたら阪急電車とか阪急の駅の構内に貼らせて頂くなど、近くのスーパーに貼らせて頂くとか、せっかくこういう機会があっても知らない方がいらっしゃるそうです。ブックスタートに来られた方がこういうのがあるのを知らなかったということおっしゃってましたので、広報をどうするかということも、一工夫あればいいのではないかと、あと、ここは土地柄がすごく良くて、万博公園とか大学とか高校も多いので、他の公共機関とか学校に協力頂くのもいいのではないかとということで、意見を頂いてまいりましたので、よろしく願いいたします。

(事務局A)

ありがとうございます。広報というのは永遠の課題みたいなところもございまして、市報というのはスペースも限られており、わかりにくいというのがあります。ちらしなどは各施設に配布するようにはしています。それでもなかなかPR仕切れないということがあります。どこの施設のどこの機関のPRもそうですね。きれいなパンフレットを作るけれ

ども、結局なかなか市民の皆様の目に届かないということがありますね。

(A委員)

ですから、せっかく住宅街の多い場所にできているのですから、本当にご近所の方とか、地域の方に愛される館を目指すのであれば、やはりご足労ですけれども、それぞれのところに行かれて、ご協力頂くのがいいのではないかと思います。

(会長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。先ほどご意見ありましたけれども、3つのフロアで合同で何かする場合に、この運営協議会でアイデアを提案したりできるということでしょうか。

(事務局A)

そうです。意見交換はして頂ければいいのですが、そういった細かい事業については、それぞれのフロア委員会でやって頂く、この運営協議会については、例えば、こういうことしたいと思うけれども、全館でどうしたらいいか、あるいは、今みたいな広報の関係でも地域の方々、全市的な方々に来て頂いておりますので、いろいろな意見交換をしながら、それを実行していくというふうになると思います。3つのフロア委員会で話をして、こういう企画を立てましたという報告を運営協議会にして、そしてそれについて広報をどうしようかというのは、それぞれのフロアではなくて、こういったところで意見を出してもらおうというのがいいと思います。例えば、保育園、学校、地域から皆様来て頂いておりますので、そのあたりでPRできたらと思っています。

(A委員)

欲張りなのですが、一番いいのはフロアの係りの方が、図書館のブックスタートを見学されるとか、図書館の方がのびのび子育てプラザに行って、子どもさんはこういうので喜ぶのだとか、その各所で、お互いの職場研修ではないのですが、そういうことをされるともっといい関係も、しんどさもわかるかもしれません。大変だということもわかりますけれども、これだったら協力できるのではないかと、というようなことも出てくるのではないかと思います。図書館のフロア委員会では、せっかくこういう施設になったのだから、縦割りでなく横でというのを再三おっしゃっていたので、やはりできればいろいろな人にいろいろな所を利用してほしいというのがありますから、できれば職員同士の交流もいろいろされてはどうかということも意見としてあがりました。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(F 委員)

先ほどのA委員の広報の件ですが、私は保育園におりますが、地域に保育園がいくつもあって、申し訳ないのですが、この「お正月だよ全員集合」というのをよくわかっていなくて、もったいなかったと思っております。今後そういうことがあれば、保育園というのはいろいろな情報の発信に役に立てると思いますので、利用して頂くのは、保育園側としては全然苦にならないというようなものですので、また何かありましたら私たちもお手伝いできればと思います。

(A 委員)

すごい心強い意見ですね。ですから、もっとそれを広げていけば、学生の方にポスターを書いてもらうとか、楽器とか勉強するだけの子ばかりじゃなくて、絵の好きな子もいるわけですから、学生の方に今度こういう催しをするから、絵を描いてと言えば、小さい子でも僕描きたい、私描きたいという子も出てくると思うので、そういうことをいっぱい公募して、それをまた貼っていくと、わくわくして下さるのではないかなと私は思います。いろいろな人を巻き込むといえますか、そういうふうにしていけたらと思います。

(B 委員)

すいません。私も知らなかったのですが、おもちつきがあったり、お正月遊びがあったりして、ここの委員の方にボランティアで手伝ってほしいとか、そういうことはここでは言われないのですか。

(事務局A)

運営協議会の皆様にお手伝いをということにはなりにくいです。それぞれのフロアでは、ボランティアがいます。例えば3階の青少年であれば協力してくれるボランティアはたくさんいておりますので、そこから手伝って頂くこととなります。皆様にお願ひするのは、おそらく周知・啓発をお願ひしますということになると思います。実際、そこに来て、もちつきで臼を運んでくださいとか、誘導してくださいということにはなりにくいと思います。

(B 委員)

わかりました。

(会長)

ありがとうございました。できることについては、私たちも協力していきたいと思ひます。それでは他に何もなければ、遅れて来られた方の委嘱状の交付をお願ひしたいと思ひます。

委嘱状の交付

(E 委員)

自己紹介

(会長)

ありがとうございます。よろしく申し上げます。それでは、本日の議事はこれで終わりになりますが、その他にいきたいと思います。

(議題③その他について)

(会長)

議題③のその他についてですが、次回の開催日程ですが、運営協議会は、2ヶ月に1回の開催を目安としていますが、2ヶ月後となりますと、3月末ぐらいの開催になりますが、年度末など皆様お忙しい時期になろうかと思しますので、時期を早めまして、2月下旬から3月上旬での開催にしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。議事、議題の関係にもよりますけれども、どうでしょうか。これは、3月末までに開催したほうがよいのでしょうか。

(事務局A)

すいません。私の方からよろしいでしょうか。私どもの都合で申し訳ありませんが、3月1日から議会が開催されます。皆様のご都合もおありかと思いますが、できましたら、2月27日(月)～29日(水)の間で調整させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

調整方法につきましては、前回同様、今回の議事録を送付させていただくと同時に、開催予定表をお送りし、調整させていただきたいと思います。

なお、次回につきましては、夢つながり未来館1周年記念行事を3月25日に予定しており、現在、企画中でありますので、そのご報告と併せて、4月には、夢つながり未来館の愛称の募集も検討していきたいと思っていますので、ご報告させていただくことになると思いますのでよろしく申し上げます。

(会長)

今、事務局の方から提案がりましたが、皆様いかがでしょうか。それでは、この件については、また追って開催予定表で調整させて頂いて、追ってご連絡させて頂くということをお願いします。それでは、本日の議題は以上になります。そうしましたら、副会長、閉会の挨拶をお願いいたします。

(3) 閉会

(副会長)

皆様、寒い中、またお忙しい中、ご出席頂きどうもありがとうございました。お正月にあった事業の様子も活動風景をつけて頂いたので、どういう事業をされているかということも委員として感じ取れることができました。次年度へ向けての企画などもまた報告されると思いますので、また、次回もよろしくお願ひ致します。本日はどうもありがとうございました。お疲れ様でした。